



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会社名 ソフトマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 永里 義夫
(コード番号: 3671 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役管理本部担当 濱平 耕一
(TEL. 099-226-1222)

通期業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 2 月 12 日に公表しました平成 28 年 12 月期通期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において下記のとおり固定資産の譲渡を決議し、これに伴い特別利益が発生する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,500	百万円 325	百万円 360	百万円 252	円 銭 126.86
今回修正予想 (B)	3,901	△198	△162	△34	△17.12
増減額 (B-A)	401	△523	△522	△286	
増減率 (%)	11.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	3,021	67	104	53	26.89

2. 通期業績予想修正の理由

平成 28 年 12 月期の業績につきましては、当第 2 四半期決算において、前事業年度に受注したクラウド型医療情報システムの大型プロジェクト（以下「大型案件」）の稼働により、売上高は当初予想どおりの数字となりましたが、損益面につきましては、当該大型案件稼働に関連するシステムの機能強化やシステム連携などに係る費用が当初見込み以上に発生し、売上原価が過大になったため、売上総利益が減少し営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも損失計上となりました。このため、当下半期においては、当上半期の損失挽回のため、当該大型案件以外の案件による受注獲得、収益アップに取り組んでまいりました。その結果、売上高は当初予想を 1 割強上回る見通しとなってまいりました。損益面では、当下半期で売上計上を見込んでおりました案件のリプレース等にかかる工数が当初の見込みより増えたことにより原価が増加し、また、当第 4 四半期会計期間で売上計上を見込んでおりました利益率の高い一部の案件が翌期にずれの見通しとなり、その分の収益計上が見込めなくなるなど、通期においても損失計上は避けられない見通しとなったため、このたび、平成 28 年 2 月 12 日に公表しました平成 28 年 12 月期通期の業績予想を修正することといたしました。

一方、当期純利益につきましては、後記「3. 固定資産の譲渡による特別利益の計上について」に記載のとおり、当社の保有する固定資産の一部売却により、約1億3,000万円の特別利益を計上する予定であることから、営業利益、経常利益に比べ、その予想金額の減額修正幅は小さくなる見通しであります。

3. 固定資産の譲渡による特別利益の計上について

当社は、資産利用の効率化および財務体質の改善を図るため、平成28年11月14日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を決議し、これに伴い特別利益が発生する見込みとなりました。

(1) 譲渡日程及び譲渡先

①売買契約締結日 平成28年11月14日

②物件引渡日 平成28年12月20日（予定）

③譲渡先 譲渡先につきましては、相手先との守秘義務により開示は控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社の間には、資本関係、取引関係および人的関係はなく、関連当事者にも該当しておりません。また、譲渡先は反社会的勢力と一切関係がないことを確認しております。

(2) 譲渡資産の内容

資産の種類・現況用途 (所在地)	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益
土地 570.29 m ² ・ 賃貸 (鹿児島県鹿児島市)	396 百万円	265 百万円	131 百万円

(注) 本資料に記載されている業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上